

インターバンクの声（2016 年 8 月 29 日）

注目された米ワイオミング州ジャクソンホールで開催された経済シンポジウムでの講演で、米連邦準備制度理事会 (FRB) イエレン議長は、「景気や物価見通し、雇用環境の堅調な動きが続いていることを踏まえると、過去数ヶ月で利上げの根拠が強まった」との認識を示した。議長の発言がタカ派的と判断され、ドル円は 101 円近くまで急上昇した。しかし、議長が利上げの時期については明確にせず、市場も9月の利上げがあるとの判断にはならなかったためか、一旦は発言が伝わる前の水準よりも低水準の 100 円台前半まで反落した。しかし、この後、FRB のフィッシャー副議長が生出演したテレビで、イエレン議長がこの日に行った講演の内容は年内に利上げが実施されるとの観測に沿ったものだとの考えを示したため、徐々にドル買いが進み、結局ニューヨーク市場終盤には 102 円近くまで上昇した。フィッシャー副議長は、年内に複数回の利上げがあると予期すべきかとの質問には、経済指標次第だとし、今週金曜日に発表される8月の雇用統計が利上げの決定を左右する可能性があるとの見方も示した。ただでさえビッグイベントの米雇用統計だが、今週 9 月 2 日は重要度が半端なく大きくなった。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。